

7月の図書館だより

令和8年度
みうらじょうがっこう
三浦小学校

もうすぐ楽しい夏休み！

体調やケガ、事故などに気をつけて、夏休みを元気に
過ごしてくださいね！

としかん 図書館からのお知らせ

☆夏休み特別貸出について☆

7月13日(月)から夏休みの間は、
一人4冊貸出します！

長い休みの間に読む本ですので、
じっくりと読めるような本を選んでみてください！



としかんりようじょうきょう 図書館利用状況	
6月の貸出冊数	111冊
昨年度は	67冊でした

6月 かしたしぞうしょ 貸出蔵書ベスト

順位	冊数	書名
1	4	おもいがけず、朝子ちゃん
2	3	まだまだここから ポジション！ となりのトトロ
3	2	先生！おかわり禁止ってへんじゃな い？ リヒト！ 世界のくるま図鑑2500 太陽ってどんな星？ うみのダンゴムシ・やまのダンゴムシ ぬまの100かいだてのいえ わたしの苦手なあの子

〇本の貸出冊数が昨年と比べると大幅に伸びました！

- ・今年の「6月の図書館だより」を見ると、今年の5月は全校で24冊の貸し出しでした。令和7年の5月の貸し出しは45冊とあったので、職員にこのことについて話すと、「人数が昨年よりも減ってますからね。」との声が返ってきました。(児童数は昨年同時期の10人から今年は7人に減っています)
- ・「読書」は、子どもの成長には重要な要素の一つと私は考えているので、担任や児童に1週間に1回以上は図書館に行って本を借りるように声掛けをしました。(※三浦小学校は1週間に1日、月曜日に司書さんが来ています)
- ・その後、担任も結構こまめに読書を勧めていたようで今年の6月は111冊と昨年同時期よりも40冊以上も貸出冊数が伸びました！
- ・読書の効果(下記参照)
- ・貸出冊数の上限を7月から増やしました！
- ・子どもたちが少しでも多く本と触れ合うようなはたらきかけを今後もしていきます。

読書の効果について 【参照：Google AI モード検索より】

小学生の読書には、語彙力や読解力の向上、集中力の育成、想像力の拡大など、多くの効果があります。さらに、さまざまな登場人物の心情を追体験することで、共感性やコミュニケーション能力も育まれます。具体的な効果は以下の通りです。

1.基礎学力と読解力の向上

多くの言葉や言い回しに触れることで、語彙力が大きく伸びます。文章の構造や要点を正確に読み解く力が身につくため、国語だけでなく、すべての教科の基礎となる文章題の理解力アップに直結します。

2.集中力と脳の発達

文字を追いかけて、頭の中で情景や内容を構築していく作業は、高い集中力を必要とします。読書習慣がある子どもは集中力が養われ、学習意欲や学力の向上につながることで東北大学などの研究でも実証されています。

3.想像力と共感性の育成

文字だけの情報から風景や登場人物の表情を想像することで、創造性が豊かになります。また、自分とは異なる立場や環境の人の気持ちを理解する力(共感性)が育ち、対人関係を築くうえで重要な社会性も高まります。

4.知識と教養の獲得

学校の教科書だけでは得られない幅広い知識や歴史、科学的な興味を広げることができます。未知の世界に触れることで、新たな関心や好奇心を引き出すきっかけになります。